

# 鉄道分野における外国人材の 受入れ企業の好事例

---

## 受入れ企業の紹介

**東日本旅客鉄道株式会社** (本社所在地：東京都) 東京総合車両センター・大宮総合車両センター  
 ・特定技能外国人の出身国：インドネシア・ベトナム  
 ・受入れ開始：令和7年度より

## 受入れ企業の取り組み、工夫

## ○就労状況等のフォローアップ

- ✓ 就労後は日本人社員と同等内容のOff-JT、工具を用いた基礎技術技能研修、クレーン、フォークリフトなど必要な資格取得を実施。OJTも日本人社員と同等。
- ✓ 車両整備に関する専門用語をピックアップして「鉄道用語100words」を作成。母国語訳をつけ、難易度の高い用語理解をサポート。
- ✓ 他社員と同様、タブレット端末を1人1台貸与。業務に必要な情報へのアクセスを可能にするとともに、必要な連絡などもTeamsを活用して実施。
- ✓ 面談では配属先管理者だけでなく、本社担当者等の人事関係社員も立ち会い、状況をタイムリーに共有。

## ○生活サポート

- ✓ 自社独身寮に入居可能。  
(福利厚生は基本的に日本人社員と同等メニュー利用可)
- ✓ 日本での生活にスムーズになじめるよう、寮ガイドの母国語訳版を作成。
- ✓ ムスリムの方が入居している寮では、寮で提供する食事に豚肉を使用している場合、掲示しているメニュー表に「豚肉」マークを表示。
- ✓ 地元と共同開催した鉄道イベントにも参加。



業務の様子  
(パイプ曲げ加工)



母国語(ベトナム語)版寮ガイド



東京総合車両センターの  
特定技能外国人(前列5名)  
後列6名=同じ職場の技能実習生

## 受入れ企業の声

- ✓ 特定技能外国人の皆さんは日本語能力が高く、通常のコミュニケーションは問題なくとれている。技術習得の意欲も旺盛なので、まずはしっかりと学び、いずれ伝える側に成長することを期待している。
- ✓ 技能実習から特定技能になり、より責任感が出てきた。技能士などに挑戦して技術向上を図り、班長を目指してほしい。

## 特定技能外国人の皆さんの声

- ✓ 日本は時間をしっかり守る国であるため、列車遅延を発生させないように業務理解を深めて貢献したい。多くの人を利用する山手線に関わるメンテナンス業務に従事できる点が、大きなやりがいである。
- ✓ ミスを起こすと大きな事故につながる業務が多いため、まず安全で正しい作業が最優先である点を重要視している。日本の高い鉄道技術が組み込まれた車両を整備できるのはうれしい。

## 受入れ企業の紹介

坂本軌道工業株式会社（本社所在地：兵庫県）受入れ従事先：篠山作業所（丹波篠山市）  
 ・特定技能外国人の出身国：フィリピン  
 ・受入れ開始：令和7年度より

## 受入れ企業の取り組み、工夫

## ✓ 実作業従事前の教育

- 机上教育…写真を活用し、日本語と英語併記の資料で教育
- 演習教育…構内材料線（本線に隣接しない線路）を使用しての実践的教育

## ✓ 実作業経験後の教育

- 必要資格の取得準備実習…玉掛技能、移動式クレーン
- 労働災害防止のための勤所集を作成し、主要作業の労災防止のために指導

## ✓ 日本語教育

- 社外講師を招き、週2回の日本語教育を実施
- 定例の自社安全衛生協議会の中で、外国人社員による日本語スピーチを設定し発表

## ✓ 生活サポート

- 地元地域の行事参加やボランティア活動への実施と指導・定期的な懇親会や意見交換会の開催
- 個人負担での一時帰国の承認
- 技能実習から特定技能へ在留資格変更時の一時帰国中においても基本給の支払いを実施（60日間）
- 外国人材からの相談要望を受け、常備薬セット（風邪薬・胃薬など）を配布（全社員）



先輩実習生からの実務研修



地元行事参加



社員 懇親会

## 受入れ企業の声

- ✓ 外国人技能実習生と特定技能外国人が協力して従事してくれている。特定技能の2名(内1名は建設分野)は外国人社員に対する技能的指導や日本語や日常生活における指導的立場で、友好的かつ協力的なスタンスの維持向上に努めてくれている。
- ✓ 今後は専門級の知識や技能の向上に努め、資格取得による職長を目指してほしい。

## 特定技能外国人の皆さんの声

- ✓ 安全・品質に厳しい仕事だが、列車の安全走行を守っていることで、人の命や財産を守っていると思うとやりがいのある仕事で誇りが持てる。
- ✓ 安全第一・安全最優先で、自分も仲間も列車も誰も傷つくことなく終了する毎日が当たり前であり、その当たり前の技術が身につくことで自分が成長していくのがうれしい。